



医療経営士ニュース | これからの医療現場を担う経営人材のための機関紙

# MMS NEWS

2017 7 月号  
Vol.77

毎月1回発行(通巻77号)  
編集:日本医療企画

一般社団法人日本医療経営実践協会 〒101-0033 東京都千代田区神田岩本町4-14 神田平成ビル7F TEL.03-5296-1933 <http://www.jmmpa.jp/>

## 「北海道支部設立2周年記念フォーラム」を盛大に開催

# 新支部長・田中繁道氏(溪仁会グループ 最高責任者)が就任挨拶 医療・介護の方向性と医療経営士の役割を示す



多くの医療経営士と関係者が参加した

**支部会員と力を合わせ 医療介護福祉の新しい未来をつくる**

最初に北海道支部顧問の秋野豊明氏(溪仁会グループ会長)が開会挨拶に立った。記念フォーラムに先立って行われた理事会にて、支部設立から支部長を務めてきた秋野氏が顧問に、新たな支部長に田中繁道氏(溪仁会グループ最高責任者)が就任したことを報告。「北海道支部では、さまざまな立場の医療経営士同士が交流し、勉強することとで互いに能力を高めることを目指してきた。来年第7回『全国医療経営士実践研究大会』は札幌市での開催が予定されている。大きな役割を課されることになるが、頑張っしてほしい」と呼びかけた。

日本医療経営実践協会北海道支部は6月10日(土)、TKP札幌ビジネスセンター赤レンガ前(北海道札幌市)において、「北海道におけるこれからの医療・介護の連携と次期改定を見据えて」をテーマに「北海道支部設立2周年記念フォーラム」を開催。多くの医療経営士と支部関係者が参加した。また、セミナーに先立って開催された理事会で役員改選が行われ、新支部長に田中繁道氏が就任した。

**人口減少時代を 乗り切る 病院経営のあり方とは**

特別講演では「診療報酬・介護報酬同時改定が医療経営に与える影響」と題して、東京医科歯科大学大学院教授の川淵孝一氏が登壇。人口構造や社会背景の変化を踏まえながら、人口が減少している地域の医

次に、支部長に就任した田中氏が挨拶を行った。田中氏は医療機関を取り巻く環境の変化や社会保障制度改革の動向などを整理したうえで、「現在は個別経営から地域経営へと変わっているが、私は両者の共生が必要だと思っている。それによって地域による、地域住民のための医療介護福祉を構築することが『地域医療構想』や『地域包括ケアシステム』であり、最終的には地域創生につながっていく。この流れをつくることとが課題」と提起し、課題の解決に向けて、「皆さんと力を合わせて、いい医療介護福祉をつくり上げていきたい」と結んだ。

続いて、2016年度診療報酬改定の影響から18年度W改定の方向性やこれからの医療経営に関する考え方を提示。「高齢化よりも人口減の影響のほうが大きいので、『急性期もどき』の病院は淘汰される。具体的に言うと、診療単価のアップを上回る患者数の減少を余儀なくされる」との認

療・介護および地域のあり方に言及。「北海道をはじめ人口が減少している地域では、医療・介護分野での働き手の確保という観点からも『集中』が求められる。そのため、まちなか集積医療が進んでいる地域も少なくなく、今後はさらにこの傾向が強くなる」と話した。



支部長に就任した田中繁道氏(左)と秋野豊明顧問

第6回 全国医療経営士 実践研究大会

参加登録 受付中! 広島大会

2017年  
開催日時  
**11月18日(土)**  
**11月19日(日)**

大会テーマ  
**変革期に求められる 医療経営士の使命と課題**

—現場主導による経営改革と新しい地域づくり

医療経営士による 演題発表 受付中!!

多くの医療経営士の チャレンジをお待ち しています。

●発表登録期間: 8月31日(木)まで

会場 広島YMCA国際文化センター  
広島県広島市中区八丁堀7-11

大会 運営 委員長 梶原四郎

日本医療経営実践協会中国支部支部長/医療法人社団清風会理事長



東京医科歯科大学大学院教授の川渕孝一氏

### 医療経営士が 変革期になすべきこと

その後、平間康宣氏（医療法人仁友会本部本部長、医療経営士1級）、田中智美氏（医療経営士3級）

識を述べたうえで、その解決策として、①増収↓増益モデルへの転換、②Value For Moneyを追求した差異化（どこにもあるサービスを、どこにもない広報で）、③焦点しぼり込みを狙った地域提携——を挙げた。また、単独での存続が困難な場合の方策として、▽まちなか集積医療（スクラップ&ビルド）、▽規模の経済”を追求した病院の統合、▽範囲の経済”を狙ったグループ化や「複合体」を模索——を進める必要があると述べ、これらを進めていくうえでの医療経営士の活躍に期待を寄せた。

美氏（医療法人溪仁会手稲溪仁会病院栄養部部長、栄養経営士）、草野真暢氏（北海道文教大学人間科学部理学療法学科教授、医療経営士3級）の3人による実践報告が行われた。

平間氏は「医療経営はおもしろい！」と題して、これまで携わった▽法人のICT化、▽新病院の新築移転、▽サテライトクリニックの開設、▽人事考課制度の導入、▽企画部門の立ち上げ——などについて報告した。「必要とされる管理栄養士を目指して——これまでの歩みと今後の課題——」をテーマに登壇した田中氏は、栄養管理や食はすべての治療・ケアの基盤となるという意識に基づき、さまざまな部署との連携のもとチーム医療に参加していることを話した。草野氏は、昨年の第5回は、「全国医療経営士実践研究大会」名古屋大会で演題発表した「DPC対象病院における採用医薬品適正化の取り組み」を改めて報告した。

最後に「これらの医療経営士像」をテーマに秋野氏が講演した。まず秋野氏は、

2018年は25年に向けた医療・介護制度改革の変革期であり、診療報酬・介護報酬の同時改定で病院経営はますます厳しくなると指摘したうえで、「時代の変化に対応する感覚と知識を持った医療経営士がリードすべき」と述べた。また、新しい時代の医療経営を担う人材に対して、▽時代の変化に敏感に対応する感覚を磨く、▽社会から信頼される存在であり続ける、▽病院の経営とは、患者満足、職員満足（働きがい）と地域満足（社会貢献）へのアプローチ、▽高い理念を達成したいと真剣に思い続けることが医療人として生きる原動力——とメッセージを送った。



実践報告を行った医療経営士1級の平間康宣氏（左）、栄養経営士の田中智美氏（中央）、医療経営士3級の草野真暢氏（右）

## 支部NEWS

関西支部

坪ゼミ「医療・介護現場の問題解決法」

# 「坪ゼミ」全4回の講座が終了 好評につき、第2弾の開講を検討中

### 「科学的問題解決法」の 考え方と手法を学ぶ

関西支部では、2017年2～5月の各第3土曜日に「医療経営士・介護福祉経営士合同研究会」として、社会医療法人愛仁会本部高槻地区事業統括部長・社会福祉法人愛和会本部統括部長の坪茂典氏を講師に迎えて「坪ゼミ」（全4回講座）を開講しました。

講師の坪氏は「現場で発生した問題を科学的な考え方や手法で解決することによって、再発防止はもとより、業務の効率化につながることも期待できる」と常々提唱しており、本ゼミは月刊誌『最新介護経営介護ビジョン』に「テーマ別コラム ここが知りたい!! 介護の羅針盤」と題して全7回（2016年11月号～2017年5月号）にわたって連載してきた「科学的問題解決とカイゼンの実際」の内容に基づいてカリキュラムが組まれました。

全4回の講座で坪氏は、問題の可視化と分析から始まり、問題解決型思考の実際、課題達成型思考の実際、科学的問題解決の組織化とTQMに至るまでを、講義だけでなくグループワークやPCを活用したデータ分析等々、毎回異なった手法を取り入れながら実践的な学びにつなげていきました。

### グループワークを活用し 活発な議論を促す

今回のゼミでは、グループワークと発表の時間を多めに配分したプログラムで展開しました。グループワークは回を追うごとに活発な意見が飛び交うようになり、「科学的問題解決」に向けた議論が繰り広げられました。

最終回となった第4回で坪氏は「ここで学んだことを現場に持ち帰ってぜひ実践してください。『守破離』の気持ちがあれば、必ず現場は変わります」と参加者に呼びかけ、4か月にわたる講座を締めくくりました。

参加者からは「坪ゼミ第2弾」を望む声も多く、今後は続編の開講も検討していきたいと考えています。

### 「坪ゼミ」全4回のテーマ一覧

開催回	テーマ
第1回	「科学的問題解決の考え方（総論・基本編）」
第2回	「問題解決型の考え方（各論Ⅰ）」
第3回	「課題達成型の考え方（各論Ⅱ）」
第4回	「問題解決法からの組織化によるカイゼンへ（応用編）」



坪氏は講義内で「科学的問題解決」につながる思考や手法について実例を交えながら解説。PCを活用したデータ分析など、実践的な手法も好評だった

第5回「医療経営士1級」資格認定試験、7月3日(月)より受験エントリー開始!

『医療経営士上級テキスト』編著者・安川文朗氏に聞く  
「医療経営士1級」に求められる資質と役割

**安川文朗氏**  
(やすかわ・ふみあき)

1980年、関西学院大学社会学部卒業、91年、京都大学大学院経済学研究科修了。民間病院、民間研究機関勤務を経て、98年より広島国際大学医療福祉学部医療経営学科助教授。以降、同志社大学研究開発推進機構専任フェロー、熊本大学法学部公共社会政策論講座教授などを歴任。2013年4月より横浜市立大学国際総合科学部・大学院国際マネジメント研究科教授。

9月10日(日)に第一次試験が実施される第5回「医療経営士1級」資格認定試験の受験エントリーが7月3日(月)から開始される。現在、1級合格者は39人、審査要件を満たした認定者は21人誕生している。横浜市立大学国際総合科学部・大学院国際マネジメント研究科教授で、『医療経営士上級テキスト第8巻 医療事故とクライシスマネジメント』の編著者でもある安川文朗氏に、医療経営士に対する期待と1級取得者に求められる資質や役割についてうかがった。

**自身の存在価値を周囲にアピールすることが重要**

厚生労働省が2007年に「医師及び医療関係職と事務職員等との間等での役割分担の推進について」という通知を出して以来、医療事務職と医師・看護師等との業務分担、あるいは一部委員が進み、医療事務職の役割はますます重要かつ複雑になってきています。医療経営士は、その流れのなかで医療経営に関する一定の専門性を持つ資格として誕生しました。こうした認識に立ってうえで、今後、医療経営士が活躍の場を広げていくためには、2つの課題があると思います。

「1つは、医療経営士の業務が病院内の現場でどのような役割を担っているのか、また、期待される技能を發揮できるような業務分担が実現されているのか」という課題です。看護師の世界で「認定看護師」や「専門看護師」の育成が喧伝され、多くの看護師が研修に参加していますが、取得した資格にふさわしい役割やそれに見合

った責任が付与されているかといえは、必ずしもそうはなっていません。医療経営士は元来、国家資格を持たない一般職種に与えられる称号です。その称号によって想定される能力や知識が病院内に正しく認識されるためには、看護師の場合以上に努力や工夫が必要で、そうした努力や工夫は医療経営士本人だけでなく病院組織全体で行わなければならないと。

**地域の全体最適に向けて専門性を發揮してほしい**

もう1つは、医療経営士を取得した人が自らその特性や能力を發揮し、医師や看護師を含む病院内の他職種と強固な連携を確立しながら、後輩の教育指導をリードできるかという課題です。これは1つめの課題と関連しますが、やはり医療経営士自身が「自分は何者なのか」を熟考し、医療経営士を保有するメリットやアウトカムを病院内に繰り返しアピールしていく必要があります。

また、これまで多くの病院では、診療報酬改定や医療制度改革の指針が出されたから、それに合致した経営指針をあわせて立案するような動きが見られました。しかし、今後は国が考える以前に望ましい医療提供体制を提言・試行できる医療機関がイニシアティブをとるようになるでしょう。たとえば、やがて来る人工知能の医療への導入が治療や事務作業にもたらすメリットを最大限に活かした医療サービスを厚労省よりも前に考え、提言していくことが大切です。これからの経営人材にはそうしたことに積極的にチャレンジしてほしいと思います。

医療経営士1級取得者には、米国における病院CEO業務に匹敵するような役割が求められるのではないのでしょうか。そうであれば、周囲から十分な信頼を得て、診療部門や支援部門が当該専門業務に専念できる環境を創造・維持する能力は不可欠です。また、目標実現のために必要なアクションや医療資源は何かを瞬時にリストアップし、関係する部門へ迅速かつ的確な指示や協力依頼ができる資質も期待されます。加えて、自院のみならず地域で必要な医療資源を管理し、地域のステークホルダーと十分なコミュニケーションを行えるよう、豊かな知識と人間性を備える必要もあります。

**国の政策の一步先をいく視点を持つべき**

医療界が変革の時期を迎

えている現在、病院の経営を担う人材には、医療の方向性をしっかりと認識し、

絶えずマクロ的視野で医療に対する社会からの需要をとらえるセンスが必要です。言い換えれば、個別の経営指標に一喜一憂して

受験エントリーまもなく開始! → 7月3日(月)から

# 第5回 医療経営士1級 資格認定試験

試験日	受験形式	試験エントリー期間	7月3日(月)~7月31日(月)
第一次試験	①短文記述形式(10題・90分) ②論文記述形式(2題・90分)	受験料支払締切日	8月4日(金)
第二次試験	面接試験 ①口頭試問(プレゼンテーション形式) ②個人面接	受験料	50,000円 ※手数料別途
		試験会場	東京(千代田区)

9月10日[日]  
12月3日[日]

※1 第一次、第二次試験及び資格認定審査を含む  
※2 資格認定審査のみ受験の場合は10,000円

第4回試験合格者座談会を、当協会発行『理論と実践』No.24に掲載しております。ご覧ください。

お問い合わせ・お申し込み 一般社団法人日本医療経営実践協会事務局 ☎03-5296-1933 <http://www.JMMPA.jp/>

事務局 掲 示 板

～日本医療経営実践協会からのお知らせ～

第6回「全国医療経営士実践研究大会」  
参加および演題・論文発表登録を受付中!

本年11月18日(土)、19日(日)の2日間にわたり、広島県広島市で開催します第6回「全国医療経営士実践研究大会」広島大会の参加登録および演題・論文発表登録の受付を開始しました。

10月31日(火)までは事前参加登録料金となり、登録料金の割引サービスがございます。参加ご希望の方は当協会のホームページにて、お早めにご登録ください。

2017年度試験ポスターが完成  
掲示していただける会員の方を募集!

2017年度「医療経営士」資格認定試験のポスターを掲示していただける会員の方を募集しています。

ポスターをご希望の方は下記お申し込みアドレスへ「医療経営士ポスター希望」とタイトルをつけ、お名前、所属先、所属部署、肩書き、送付先住所、電話番号、必要部数をご明記の上、ご連絡ください。皆様のご応募をお待ちしております。

【お申し込み】

E-mail: info@jmmpa.jp



支部活動に参加してレベルアップを図ろう!

PICK UP 研究会

7/22 東海支部

第8回静岡県東部医療経営研究会

「2025年を見据えた保健・医療・在宅の実際を知る」

医療経営士有志による自主研究会「静岡県東部医療経営研究会」は、第8回研究会「2025年を見据えた保健・医療・在宅の実際を知る」を開催する。

講師は聖隷沼津健康診断センター事務長の笠原典彦氏ら全3名。それぞれ「[保健] 健康経営から健康寿命の延伸」「[医療] 認知症ケア加算1の準備～運用～今後の課題」などをテーマに講演する。講義のあとは、質疑応答・意見交換も行われる。

- 日時 7月22日(土)14:00～16:15
- 会場 聖隷沼津病院管理棟4階第1会議室(静岡県沼津市)
- 参加費(税込) 無料
- 問い合わせ先 聖隷沼津病院医事課(担当:森) TEL:055-952-1000(内線7001)

8/29 関東支部

関東支部東京研究会 第2回研究会

「高度急性期病院における後発医薬品選定～医薬品の付加価値と製薬企業との協働～(仮)」

医療経営士による自主運営でスタートした東京研究会。5月に開催された発足記念講演に続く定例研究会の開催が決定した。

講師は、済生会横浜市東部病院薬剤部副部長の菅野浩氏。急性期病院の薬局の現状や求められている薬剤、薬剤購入の基準、DPCと薬剤マネジメント、医療安全などについてお話いただく。

- 日時 8月29日(火)19:00～20:30
- 会場 株式会社日本医療企画 もとみやセミナールーム(東京都千代田区)
- 参加費(税込) 会員:2,000円、非会員5,000円
- 問い合わせ先 関東支部(担当:平山) TEL:03-3256-2885

日本医療経営実践協会 支部研究会スケジュール

開催日	開催支部	テーマ	講師
7月15日(土)	関東	経営人材としての総合力を高める“石井ゼミ” 第2回(全4回)	石井富美氏(多摩大学医療・介護ソリューション研究所フェロー)
7月21日(金)	北海道	北海道「医療・介護・栄養経営士」3支部合同研究会 第3回(全5回)	未定
7月22日(土)	関東(東北支局)	経営企画の力を向上させる“石井ゼミ in 東北” 第2回(全3回)	石井富美氏(多摩大学医療・介護ソリューション研究所フェロー)
	東海支部	第8回静岡県東部医療経営研究会 「2025年を見据えた保健・医療・在宅の実際を知る」	笠原典彦氏(聖隷沼津健康診断センター事務長) / 佐野由美氏(聖隷沼津病院看護部看護管理室次長) ほか
7月28日(金)	北海道	社会保障ゼミⅡ 第4回(全6回)	神内秀之介氏(NB lab代表、介護福祉経営士1級)
7月29日(土)	中国	地域医療構想時代を生き抜く切り札・経営企画力を高める「石井ゼミ」 2日目(全4回)	石井富美氏(多摩大学医療・介護ソリューション研究所フェロー)
8月29日(火)	関東	関東支部東京研究会第2回研究会 「高度急性期病院における後発医薬品選定～医薬品の付加価値と製薬企業との協働(仮)～」	菅野浩氏(済生会横浜市東部病院薬剤部副部長)

※日程等は変更になる場合があります。詳細は協会ホームページでご確認ください

《本協会後援》第2回全国介護福祉総合フェスティバル in YOKOHAMA 入 場 無 料 !!

地域社会における新たな介護文化の創造・発展を求めて  
——今こそ必要な世代間の相互理解と融合



講演、展示・体験等  
多彩なプログラムで  
お待ちしております!

[日時] 8月4日(金)、5日(土) [場所] 横浜産貿ホール「マリネリア」(横浜市中区山下町2番地 産業貿易センタービル2階)

主 な プ ロ グ ラ ム

- 8月4日(金)
  - 特別講演 見守る介護—自分を責めずに頑張りすぎない介護— “認知症を発症した母との介護経験から” ▶秋川リサ(女優/エッセイスト)
  - 基調講演 これからの地域社会のあり方—新たな介護文化の創造と発展を考える ▶小櫻義明(静岡大学名誉教授)

8月5日(土)

- 座談会 地域社会における介護福祉経営士の役割～地域包括ケアシステムの推進力として何をすべきか
  - ▶ 神内秀之介(介護福祉経営士/社会福祉法人手稲ロータス会特別養護老人ホーム手稲ロータス、グループホーム手稲ゆうゆう施設長)
  - ▶ 皆川敬(介護福祉経営士/サニーウインググループ代表)
  - ▶ 吉本勝明(介護福祉経営士/草津市役所総合政策部部長)
  - ▶ 司会進行・コーディネーター: 齊木大(株式会社日本総合研究所創発戦略センターシニアマネジャー)